

2020年度 放送番組審議会 議事録

(株式会社ジェイコム九州 熊本局)

日 時：2021年2月9日（火） 14：00～15：00

場 所：株式会社ジェイコム九州 熊本局 会議室（ZOOM 使用によるリモート開催）

出席者

委 員：宮園 博光氏（会長）、熊宮 敏紘氏、安田 二郎氏、田上 聖子氏

事務局：株式会社ジェイコム九州 代表取締役社長 上村 忠

熊本局 取締役熊本局長 首藤 智博

地域プロデューサー 河村 文治

地域コミュニケーション統括部 統括部長 仲川 圭、熊本事務所長 濱永 善仁、

熊本事務所 井手 誠也、手石方 陸

●司会進行 宮園会長

1、上村社長 開会挨拶

2020 年は、コロナに始まりコロナに終わった一年。今でもまだまだ終わりが見えない中、弊社ではコミュニティチャンネルを通じて地域の皆さんに情報を発信している。委員の方々には、個別に御挨拶したいところだが、コロナ禍の中で、緊急事態宣言が発令中のため、リモートでの開催となった。本日は弊社の番組等に対し、より良いご意見を頂きたい。

2、番組審議会 審議委員について

宮園委員）今回は、1名の委員が新任された。（新任：田上委員）

本日の審議会には、委員5人中4名が出席。株式会社ジェイコム九州
放送番組審議会規定第4条に基づき、当会は成立。

3、会長、副会長選出

宮園会長）今回1名の委員が新任されたため、株式会社ジェイコム九州放送番組審議会第3条3項に基づき、会長・副会長を新たに選任したい。

熊宮委員) 会長に宮園委員、副会長に安田委員を推薦したい。

委員一同) 異議なし。

宮園会長) 他薦のうえ異議なしということで、

会長に宮園、副会長に安田委員を選任する。また、今年度における自主番組放送基準等の変更はなし。

4、議題 1

2020 年度自主制作番組実績について

① J:COM 組織概要・ビジョン・コミュニティチャンネル・放送エリア
地域コミュニケーション統括部方針など説明

② レギュラー番組の紹介

★熊本つながる News (地域ニュース・大西市長子ども質問室)

★熊本人図鑑

★ひご・散歩

★HELLO!VOLTERS

★がまだせ! ロアッソ

★フィロソフィアの扉

③ 特別番組等の紹介

★熊本地震復興祈念特別番組

★2020 夏季熊本県高等学校野球熊本市内大会

★JFA U-18 サッカースーパープリンスリーグ 2020 九州 順位決定戦

★新型コロナウイルス関連対応 (緊急事態宣言中)

★災害関連対応(7 月: 豪雨・10 月: 台風 10 号)

5、議題 1 の質疑応答 (レギュラー番組・特別番組について)

委員) 数多くの番組を作成しているので、感心している。

視聴率等の数値は分かるのか?

事務局) 社内では、視聴ログなどを通して数値を調べている。ただし社外への公表を控えているため、この場でお見せすることは難しい。

委員) 災害時など有事の際、防災メディアとしての優位性を出していくと説明していたが、例えばコロナ禍の情報の出し方で、どのような違いがあるのか？

事務局) 2020年6月に立ち上げた、つながるNEWSが他局と差別化できる番組を目指している。コロナの罹患者数だけではなく、安心安全情報のほか、グルメ・イベント・地域スポーツなど、地域の方に欠かせない情報を届けている。また現在L字でコロナ関連情報を24時間提供している。その情報は、スーパーの開店時間など狭域に絞り、視聴者に身近なものを提供。今後は更に無観客で開催されるスポーツの放送なども考えている。

委員) 去年は高校野球の県大会が中止になるなど、コロナ禍により、スポーツができる状況が制限されていた。そんな中だからこそ、今後も野球中継を続けて欲しい。別件で、熊本市は2月から、新規事業として、テレワークされる方のホテル補助や家賃支援、デリバリー無料など、コロナに対応する新たな支援をしている。L字でそういった情報を出すにはどのような手順を踏めばよいか？

事務局) スポーツへの支援について、J:COMでは全国的にいろいろ行っている。大分では、3年前から朝日系の民放と連携を取り、高校野球の予選会を生中継で全て放送している。強豪ではないチームの選手でも、その一生懸命な姿を見せたい。非常に反響も良かったため、今後も引き続き行いたい。J:COMとしては、この大分を例にし、展開を行っていく。また大分では、テコンドーなどのアマチュアスポーツに対して支援・サポートを放送以外にもしており、今後は、更に強化していく予定。また行政が発表するコロナ支援情報などは、連絡を頂ければ、難しい手続きなどはいらず、すぐ放送対応していく。

事務局) 台風10号発生時、北九州の事例で、市議の方から北風が強く吹いているから、北側の窓を重点的に守るように流せないかと相談があったので、即時に対応し、放送。これは狭域のメディアにしかできないこと。L字の放送についてもすぐ対応できるので、お声がけ頂きたい。今は振り込め詐欺などの犯罪も九州でも発生していて、70代以上の方には、県警と一緒に作成したチラシを配布するなど注意喚起もしている。情報や申し入れを頂ければ、すぐ動けるのがケーブルテレビ局の強み。お困りごとやイベントなどがあれば、どんどんお声がけ頂きたい。放送では無観客試合なども提供していきたい。ほかにもリモート医療なども対応中。今後は様々な情報交換をしていきたいと思っている。

事務局) 台風 10 号の防災に関しては、民間企業や電力会社・通信事業者などが昨年の千葉の台風を参考に対策を打っていた。我々も関西から、工事に関する支援や通信に関する支援を貰い、体制を組んで対応した。降水量や河川の状況も適宜お伝えできるよう、以前から国交省のカメラを繋ぎ放送している。災害時などは、情報を頂ければ、すぐ動くので、ご活用頂きたい。

委員) 高校野球中継を楽しみにしている。情報は防災も含め市役所内で共有する。

委員) 色々な事がやってできないことはないとの事だが、どうやってつながるか、どこから情報を流すかというのが大事になってくると思う。

6、議題 2・自主番組の審議 審議番組「熊本つながる News」

7、議論 2 の質疑応答

事務局) 事務局より番組に関する補足説明。当社の看板番組デイリーニュースをコロナ禍の 2020 年 3 月に終了。つながる NEWS は、取材自粛などの中、どのようにすれば、地域の方の役に立てるか考え、2020 年 6 月から始めた番組。まだまだ荒いところもあると思うが、きちんと審議頂きたい。

委員) 植木のすいか等いろいろな情報が載っていた。大変だとは思いますが、今後も続けてほしい。

委員) 地域に密着した番組作りになっていると思う。地域特派員のレポートがあったが、それぞれの地域で設定しているのか？

事務局) 色々な方に特派員になって頂いているが、全てのエリアに特派員がいる訳ではない。通常時はもちろん、災害時など我々が撮影に行けない場合、情報を挙げていただけたらと思っている。今後は更に人員を増やす予定。

委員) 熊本市は市長の会見などで、不定期にメディア向けのフリップをつくっている。今回視聴した記者会見では、それが無かったため、視聴者の方へ向けて、インパクトを出せなかったと感じた。熊本市としては、情報発表する側が毎回フリップなどを出した方が良いと反省した。

事務局) 熊本市の記者会見は、モニターを使用して頂き、情報を可視化して頂いているので助かっている。

委員) 行政が出すものに対して、制作側(J:COM)がテロップを入れても良いのか？

事務局) 会見に関しては、当日出すということもあり、作りこんだテロップを出すことはなかなか難しい状況。もし出す場合も最大限配慮をしている。もしくは市の方に確認頂いた後での放送としている。

事務局) 今後のコミュニティチャンネルで、4月の改編を待たずして考えているのは、かなり厳しい状況に置かれている飲食店の支援。中でもキャパシティの大きいお店が大打撃を受けているので、そういうお店のデリバリーや営業情報などを紹介したい。委員の皆さまも、ぜひこのお店を紹介してほしいというお店があれば情報を頂きたい。

委員) コロナ関連のニュースは、マイナスな方面のニュースが多い。そういう中で、ローカルとして、ポジティブなものを提供できるのは良いと思う。そのあたりをケーブルテレビで、更にピックアップしてほしい。

9、首藤局長 閉会挨拶

コロナ禍の状況からリモートという形で開催させて頂いた。皆様からの貴重なご意見を多数いただき今後のより良い番組作りに活かしていきたい。コロナが収束したのちには、皆さまとお会いし、また忌憚のないご意見を頂戴したい。当社からも様々な情報を提供させて頂くので、今後そのような場を設けさせて頂ければと思う。

以上